

ACTIVE SPORTS PARK

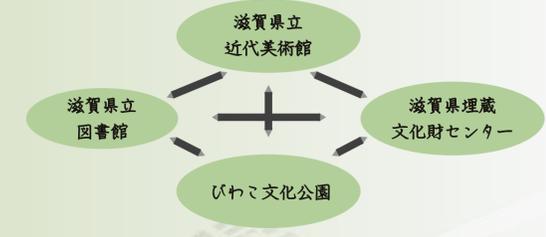


1. 敷地情報

立命館大学、龍谷大学、滋賀医科大学などの教育機関に囲まれたびわこ文化公園は滋賀県を代表する芸術、教養の文化施設群を公園施設内に配置した都市公園であり、瀬田丘陵の豊かな自然を活かしたふれあいの場となっている。近くに高速道路のICに自動車交通の便が良く、公園内には駐車場設備が充実している。

2. びわこ文化公園の抱える問題

公園南側の広いスペースを活用できていない、それぞれの文化施設が独立して機能を完結させてしまっているため、施設同士や公園との関係性が希薄であり、公園内にあるという立地の良さを活かせていない。



POSITIVE	NEGATIVE
<ul style="list-style-type: none"> ・県下有数の文化施設がある ・自然豊かな公園 ・自動車交通にとって好立地 ・住宅街に位置している公園周辺に教育機関 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の広いスペースを活用できていない ・公園内に文化施設のある良さを活かせていない

公園内での回遊性のあるアクティビティと文化施設の公園への展開

立命館大学
出口 服部 比果 牧田 横山

3. 南側の空間の活用

4. 滋賀医大との連携による健康管理

5. 既存の文化施設と公園の接続



現在活用できていない公園の南側の地形を生かし、**トレイルラン**、**マウンテンバイクのコースを設置**する。びわこ文化公園では高速からのアクセスが良く、駐車場も広いので遠方からのMTBの人を取り込みやすい。また、**ランニングステーション**を設置することで遠方の人だけでなく近隣住民の方もランニングなどの運動拠点として利用することができる。



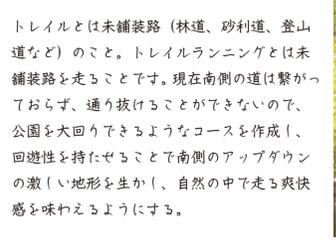
敷地東側に隣接している滋賀医科大学との連携し、公園で運動する人に**ウェアラブル端末の貸し出し**を行い、心拍数などを記録することで利用者の健康状態の管理を促進させる。地域の年配の方や、医大から退院した方の運動の場として公園を機能させ、県民の健康増進活動に繋げていく。



現在公園内にある文化施設はそれぞれが単体の機能で完結してしまっており、公園の中にあるという立地の良さを活かせていない。そこで**グランピング施設**を設け、**屋外で本や雑誌を読む**ようにしたり、**縄文土器を使ったアウトドア**を楽しめるようなプログラム、美術品の公園内への展示イベントなどを行い、文化施設の機能を公園へ展開していく。



マウンテンバイク (MTB) は、荒野、山岳地帯などの未塗装の道で行う競技で先日のオリンピックでも行われていた。しかしMTBのコースはそれほど普及しておらず、車に自転車を載せて遠方まで行く人がほとんどである。駐車場の多い当公園ではこういった遠方からの来客もターゲットにしながら小さな子供や初心者が楽しめるように複数のコースを開拓する。



トレイルとは未舗装路 (林道、砂利道、登山道など) のこと。トレイルランニングとは未舗装路を走ることで、現在南側の道は繋がっておらず、通り抜けることができないので、公園を大回りできるようなコースを作成し、回遊性を持たせることで南側のアップダウンの激しい地形を生かし、自然の中で走る爽快感を味わえるようにする。



<https://www.asics.com/jp/ja-jp/mk/asicsruntokyo-marunouchi>

ウェアラブル端末を装着して走ることで、走行距離やペース、心拍数等を図ることができ、アプリなどと連動すれば過去の運動記録と比較できるなど継続的に健康状態を管理することができる。



https://news.mynavi.jp/article/20190817-band_3/



<https://www.jalan.net/news/article/657124/2/>

現在展示されているだけの縄文土器をアウトドア用に貸し出すことで、埋蔵文化財センターと公園に関係性を持たせていく。また、図書館の本も雑誌などを一部野外利用を可能にし、テントの中やハンモックの上でくつろぎながら本を読むようにすることで普通の図書館ではあまりできない体験を提供する。



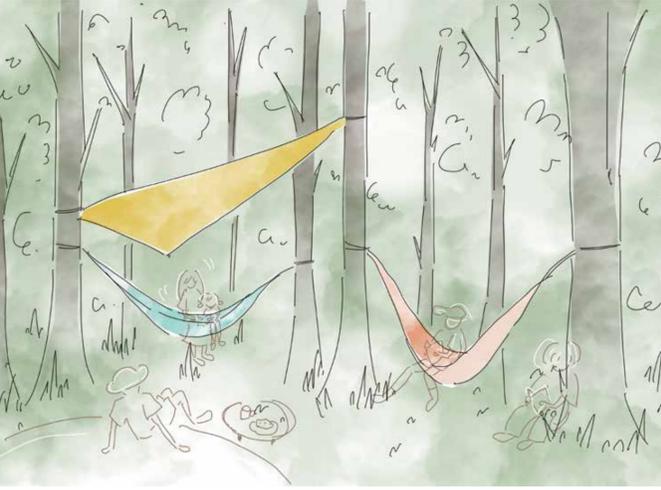
<https://binged.it/2X5mF1B>



マウンテンバイクのコース



トレイルランのコース



グランピングエリア